

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 令和2年度・学校力向上プラン【学校評価計画書】

令和2年10月22日現在
堺市立 金岡小学校 校長 千賀 敏弘

<p>令和2年度 教育目標 …『かかわりを学びに！』 重点目標 「多様なかかわり合いを通して、“学びを深める”児童の育成」 くめざす子ども像> ◎かんがえる子 ◎なかよくする子 ◎おおきなこえであいさつする子 ◎からだと心をきたえる子 <本年度研修テーマ> 子どもの自力解決を育む授業の工夫</p>
--

<p>学びの現状 児童アンケートの結果、児童が学習の成果を感じて学びに向かっていることがうかがえる。また、『令和元年度 堺市「子どもがのびる」学びの診断』では国語・算数ともに、全学年で正答率が堺市平均・全国参考値・目標値をすべて上回り良好な状態を維持している。 一方、国語では、4年生で「漢字を書く」問題、5年生・6年生で「書くこと」の領域の作文問題、算数では、多くの学年で、「数と計算」の領域で課題が見られた。国語での課題に対する主な要因は、児童の読書への興味が薄れ、読書量が減少していることにあり、算数での課題に対する要因は、長さや重さ・面積などの量感をイメージできていないことにある。これらの課題を克服するために、読書タイムや読書ノートを有効に活用することで、色々なジャンルの本に触れる機会をもち、読書量を増やしていくことや、問題解決型の学習による授業改善に取り組み、「自ら学び、自ら考える」ことができる授業を目指して指導していく必要がある。</p>	<p>体力の現状 令和元年度のスポーツテストの結果、男女ともに、立ち幅跳びは堺市平均を上回った。しかし、握力、上体起こしは堺市平均を下回っている学年が多かった。今年度も、校舎建て替え工事が続き、狭い運動場でますます外遊びや体育等が制限されるが、体育の授業・休み時間を中心に児童が運動量を確保できるよう教員への研修等を実施し、基礎的な体力の向上に向けた取り組みに重点を置く。 令和元年度末から世界的に新型コロナウイルス感染症が流行している。児童1人1人に感染対策への意識づけを図り、適切な感染予防行動をとることができる取組に重点を置いていく。</p>
---	---

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認(年度途中)		達成状況(年度末)				
							自己評価(10月)	自己評価(2月)	学校関係者評価(3月)				
確かな学び	教科学習	確かな学力を育む授業づくりをする	○学力向上:語彙力(辞書の活用等)、ノートの使い方、発表・話し合いのさせ方、朝学、家庭学習等の共通理解 ●図書指導:読書の推進(読書タイム・読み聞かせや本の紹介・並行読書・各教科での調べ学習・読書ノート) ○校内研修:授業力の向上(本年度研修テーマに沿って全学年で研究授業を行い、授業について討議することで、教職員全体の授業力向上を図る。若手教職員間による研修を行い、外部から指導主事などのアドバイザーを招集した研修を通して教員の資質を高める。) ○カリキュラム・マネジメント:生活科・総合的な学習を中心とするカリキュラム・マネジメントの推進	・教職員アンケート「家庭学習等の共通理解ができている」 ・ノートの使い方などの提案(月1回 ノート掲示を行う) ・児童アンケート「すすんで本をよんでいる」肯定的回答 80%以上 ・本の貸出しが2学期より上回る ・教職員アンケート「読書ノートを利用している」 ・研修テーマに沿って研究授業を進める ・児童アンケート「問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」肯定的回答80%以上 ・全学年でカリキュラムマネジメントの確認・見直しを行う	教職員アンケート実施状況 児童アンケート本の貸し出し教職員アンケート 実施状況 児童アンケート 実施状況	学年末 学年末 学年末 学年末	B B B -	・ノートの使い方や児童のノートへのコメントを入れる視点について共通理解を図ることができた。また、各学年のノートの良かった点を職員で共有したり、ノート掲示も行ったりとすることで、子どもたちの学習意欲につながっている ・読書ノートの利用や読み聞かせ、おすすめの本の掲示を行うことで、少しずつ児童の読書に対する意欲が高まっている ・職員で研修テーマの共通理解を図ることで、日々の授業で研修テーマを意識した取り組みができており、児童のノートにも自分の考えを書こうとする意欲が見られる					
			○ひまわり学級:一人ひとりの児童が集団の中で自分を生かし活動できるように支援する。それぞれの児童の特性を生かした個別の指導を行い、達成感、成功体験を積み重ねることで児童が自己肯定感を持てるようにする。 ○ひまわり教室:通常学級の困り感のある児童に対して、担任・家庭と連携しながら、個々の支援ニーズを把握し、改善・克服を目的とした、個別のトレーニングによるスキルアップを図る。 ○通常学級:ユニバーサル・スタンダードによる学級経営を意識し、楽しく「わかる、できる」ように工夫された授業づくり、楽しく「居場所」となる学級づくりをめざす。	・個別的教育支援計画・個別の指導計画もとに実施。達成率30%以上 ・個別の指導計画をもとに実施。達成率80%以上 ・児童アンケートの肯定的回答90%以上	個別的教育支援計画 個別の指導計画 個別の指導計画 児童アンケート	学期末 学期末 学期末	B B -	・コロナ感染予防もあり、集団の活動までできないことが多くあったが、その分個別の学習活動については手厚く対応することができた。また、少しずつだが、朝の会での活動も行い、児童それぞれの良さを引き出し自己肯定感を持たせることもできた ・個人差もあるが概ね 80%を達成。入級児童が増加傾向にあるが、今後も担任や保護者と連携し、随時目標を見直し、個々の児童に合った支援・指導を行う ・児童アンケート未実施のため、評価できず					
			○道徳科「考え、議論する道徳」に向けた指導方法の工夫・改善を図る⇒保護者、地域を対象とした道徳科の公開授業及び教員相互が参観する道徳科の公開授業を、年1回以上実施する。 ●人権教育:なかまづくり(お互いを認め合い、支え合う集団の育成)⇒グループワーク等を通して、コミュニケーション力を高める。教員間で教材を積極的に交流し、各学級でとりいれる。 ・平和学習:視聴覚教材を用いて、戦争の悲惨さや命の大切さに基づき、平和な社会を持続していくこととする気持ちを育む。	・公開授業をしている ・実践交流 ・児童の平和学習の感想文の記載内容	実践報告 人権委員会での実践報告 児童の平和学習の感想文	学期末 学期末	B B	・今年度は5年生で道徳科の公開授業を行う予定。考え、議論する道徳とするためのポイントや評価の仕方を人権委員会で検討した ・コロナ禍で、以前のようなグループワークは実施できていないが、児童同士のつながりができるように努めている。実施した教材などは人権委員会で交流している ・堺空襲があった時期に合わせて平和学習を行った。感想文から戦争を恐れ、平和な社会の持続を望む様子が見受けられた					
豊かな心・健やかな体	生徒指導	笑顔あふれる学校づくりをする	○生徒指導:ルールの必要性に子ども自らが気づくことができる指導(朝礼での啓発、毎月の生活目標の設定) ・元氣な挨拶があふれる学校づくり・みんな笑顔で元氣に登校(不登校対応の協力体制、いじめ防止推進研修、アンケート) ○児童活動:児童が主体的に取り組む学校づくり(児童議会、児童会役員選出・活動、児童による啓発、児童会新聞発行) ○美化指導:学校をきれいにすることの良さに基づく指導(そうじの仕方の指導、高学年が低学年の手本となる清掃指導)	・児童・保護者アンケート肯定的回答85%以上 ・児童・保護者アンケート肯定的回答85%以上 ・児童アンケートの肯定的回答80%以上	児童・保護者アンケート 児童・保護者アンケート 児童アンケート	学年末 学年末 学年末	- - -	・放送朝礼で自ら進んで挨拶・ルールを守ることの大切さを毎週啓発している。毎日登校、下校時に教職員があいさつを行い、挨拶が習慣になるよう指導を続けている。毎月の生活目標をクラスで掲示し、常に啓発と指導を行っている ・児童会新聞を発行した ・各クラスで週2回のそうじで学校をきれいに使うことの大切さを指導している ・児童アンケート未実施のため、評価できず					
			保健・体育・給食	学力を支える健やかな体を育成する	●保健:児童の心身の健康課題を早期発見し、配慮を必要とする児童への組織的な対応と、新型コロナウイルス感染症への対策的確化を図る。 ○体育:授業の初めに「ラッキー体操」を実施することや、研修等を通して教職員の授業力向上を図ることで、基礎的な体力の向上をめざす。 ○給食:健康行動の形成・維持を目標とし、毎日の朝食の摂取率をあげて、内容の充実をめざす。 ○安全指導:学校安全マニュアルをもとに、全職員が災害や事故対策を徹底し、安心安全な学校とする。	・ケース会議の実施、HP・掲示物、保健だよりを活用した啓発 ・個人の健康観察カードの運用 ・職員研修の実施 ・委員会活動による児童への啓発 ・給食前の衛生点検 ・委員会活動による児童への啓発 ・避難訓練の実施 ・職員研修の実施	実施状況 研修実施状況 職員アンケート 点検結果 児童アンケート 児童アンケートの結果(肯定率80%以上)	学年末 学年末 学年末 学年末	B B B B	・要配慮児童はケース会議実施の上、組織的な保健管理の実施、健康観察カード運用、消毒など感染症予防の実施、HP、保健だより啓発は実施。掲示物は休み時間の移動制限もあり活用が不十分である ・ラッキー体操の研修は実施することができた。体育参観でラッキー体操をすることで、全児童へしっかり指導ができた。委員会は1回しか実施していないので、児童による啓発活動は実施できていない ・給食前の衛生点検は細かく実施している。委員会活動が1回しか実施できておらず、児童による啓発活動は実施できていない ・工事の間に避難経路を変更し周知した。避難訓練は実施できた			
					○1/2 成人式やキャリア教育、いのちの授業など自分自身を見つめる活動を取り入れる。	・各学習の実施の有無 ・児童アンケート	児童アンケート	学年末	-	・現在、行事に関しては検閲中、または準備段階になっている。 ・11月には、「いのちの授業」を4年生で実施予定。また、「小中交流会」を6年生で実施予定。			
	①地域資源(人材等)の活用により、生活・総合的な学習や防災・キャリア・環境教育、マイスタディ学習等を充実させる。 ②児童対象のPTA・地域行事へ教職員が積極的に参加する ③金岡小教育ビジョン、学校力向上プラン、日常的な学校教育活動をHPや学校通信等を通じて積極的に発信する	学習の中で、計画的に地域資源を活用する 教職員が行事等へ参加する プリント、HP、学校通信で積極的に発信する			実施状況 実施状況 実施状況	学期末 学期末 学期末	A - A	・低学年の校外学習、5年生の田植え・収穫体験、マイスタディ等、外部人材や保護者にお手伝いいただき、学習活動が充実した ・コロナ禍のため、各種行事が中止 ・学校の経営ビジョンやプラン、日常的な教育活動等を、HPや学校通信を通じて積極的に発信している					
	自分の特徴を知って、短所を改め長所を伸ばそうとする態度や、夢や願いをもち様々なことに前向き粘り強く取り組む態度を養う												

校長より(年度末)	学校関係者評価者から(年度末)
-----------	-----------------